

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170400865		
法人名	有限会社 エーアステス		
事業所名	グループホーム Myほ〜む童里夢		
所在地	札幌市西区西野2条1丁目2番1号		
自己評価作成日		評価結果市町村受理日	平成27年4月17日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=tr ue&JigvosyoCd=0170400865-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号室
訪問調査日	平成27年2月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

運営理念を目標に入居者様を「自分の親だったら」「自分だったら」と日々のケアを行っております。入居者様各々の能力に合わせ、常に職員と共に掃除・洗濯・料理を行っております。

暖かい季節には近隣へ散歩に出かけ、地域の方々と挨拶を交わすなど触れ合っております。

時には外出レクリエーションとして車で美術館や紅葉狩り、温泉や花見などに出席しております。また施設内のレクリエーションではボランティアによる演奏会やアレンジメントフラワー作り、誕生会や季節ごとの行事も行っております。

常に各入居者様が「出来る事」を積極的に行って頂き、ADLの維持・筋力の低下防止に努めて安心して楽しく活気ある生活をして頂ける様支援しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

西区の中央を流れる琴似発寒川沿いの閑静な住宅街にある、木造2階建ての併設型1ユニットの事業所である。居間、廊下等の共有空間は清潔に保たれ、入居者や職員が作った作品が飾られており、ゆったりとした雰囲気、季節感が感じられるよう配慮されている。また、居室においても自分らしさを大切に、自由に家具や装飾品を配置し、楽しめる工夫が行われている。協力医療機関からの定期的な往診や併設の訪問看護ステーション等、医療との連携をスムーズにすることで利用者、家族の安心を担っている。町内会行事に参加・協力する等、住み慣れた街でその人らしく、安心して暮らせるよう支援を行っている。今後も地域の拠点として、更なる発展が期待出来る事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらい				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらい				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	日頃から地域の方々との繋がりを密にするため地域の方々とコミュニケーションを取るよう心掛けております。理念や組織においては業務の際実践できるよう入職時新人研修を行っております。	「私たちの目指すもの、それはホームに関わるすべての人々の明るい笑顔と活気あふれる生活です」を理念とし、日常的に職員間で共有し、質の高いサービスの実践に向けて取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域との交流を図れるよう町内会に加入し、回覧板を通して町内会行事に参加、顔見知りの関係を構築しております。また運営推進会議に参加して頂きグループホームへの協力や理解が得られるよう努めております。	町内会に加入し、行事に参加・協力している。また、来訪される地域のボランティア、近隣住民も多く、気軽に立ち寄ることの出来る雰囲気作りで、地域交流に積極的に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議において職員が講師となり認知症についての勉強会を入居者様の状況を説明しつつ行い、認知症の人への理解や支援の方法についてお話しております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回入居者様の状況報告・サービスの状況や行事内容の報告を行い、参加された方々よりの意見をもとに改善すべき点は話し合いサービスの向上に努めております。	包括支援センター・家族代表・町内会役員、民生委員等が参加し、年6回開催している。会議では、運営状況、問題点を明らかにし、積極的に委員からの意見を取り入れることで、サービスの質の向上に努めている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市担当者と行き来する機会はあまり多くはありませんが、事業所運営やケアサービスにおいての問題点等報告しつつ、指導して頂いています。	運営推進会議には地域包括支援センターの出席がある。市への毎月の状況報告、地区のGH管理者会議を通じて、地域高齢者や事業所の状況について情報交換を行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行わないように全職員が理解しケアを行っております。経験の無い新人職員には内部・外部研修への参加、また業務中において都度指導しております。	職員は、内外の研修会等に参加し、伝達研修を通じて身体拘束のないケアを学んでいる。目配り、気配りに配慮し、日常生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は外部・内部研修で学び、包括支援センターの担当の方や地域の方々と運営推進会議で話し合いを行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者や職員全ての者が理解できるよう内部研修での勉強会・外部研修での報告、資料を配布する事で常に学べる体制となっております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を行う際には、契約内容・重要事項について十分な説明を行い、理解・納得して頂いております。また解約・改定についても説明をし、不安や疑問点の無いよう努めております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃から利用者やご家族とコミュニケーションを図り、意見や要望をお聞きするよう心掛けております。また苦情窓口を設け不満や苦情等あった際には、傾聴の場を設け運営に反映できるようにしております。	生活状況を毎月のお便りや電話で報告する等、利用者・家族と職員のコミュニケーションは良好である。利用者本位を運営の柱の一つとしており、日常的に意見・要望をくみ上げる仕組みがある。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のミーティングにおいて職員の意見や提案を聞く機会を設けております。また入居者様の状態や変化等日々の中でも何かあれば都度話し合いをし反映できるよう心掛けております。	毎月のミーティング時に職員の意見を聴取する機会を設けている。随時、職員との話し合いで意見等を聞き入れ、運営に反映するよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員個々の勤務状態を把握し、向上心を持って仕事に取り組めるよう、常日頃から職員とのコミュニケーションを取り働きやすい環境作りに努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修や内部研修・外部研修の参加報告と日々のケアの中で必要に応じ指導する事でスキルアップに努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者会議への出席、他のグループホームとの合同の行事へ参加する事で話す機会を持ち、質の向上に努めております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時からグループホームでの生活に慣れるまでは特にコミュニケーションを重視し、小さな事でも関心を持ち常にご本人が暮らしやすいよう考慮します。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が遠慮せず何でも話しやすい対象になれる様、ご本人の暮らしぶり等状況報告を行いつつ良好な関係を築く努力を行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族の要望をよくお聞きし、ご本人が生活する上で必要としている支援内容を考慮しつつ、ケアプランを作成、支援させて頂いています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様を家族同様に思い、気持ちや考えを尊重しつつ、入居者様の得意とする事においては学ばせて頂く事も多々あります。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の要望や状況を把握しご家族に報告、共有する事で共に入居者様を支援していくように努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族やご友人が面会に来設された時には、気軽に過ごせる場を提供させて頂いております。その際には安全の為、身元の確認をさせて頂いております。	利用者の行きたいと希望する店への買い物や外食へ出かけている。家族・知人の来訪時にはお茶を勧める等、ゆっくりと過ごしてもらえるようにしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々の生活の中で、気の合う利用者様の席を隣同士にしたり、職員が間に入り入居者様同士が楽しく関わり合える様な関係を築けるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	継続してよい関係が保てるように必要に応じて付き合い等を行わせて頂いています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の会話や行動からご本人の真意を汲み取り記録し、職員間で話し合いをし情報を共有しております。困難な希望や思いが伝えられない方には、出来るだけ希望に添えるよう、その人らしい生活が送れるよう検討しつつ支援しております。	日頃の利用者との会話等から、本人の希望や思いを把握するよう努めている。困難な場合は、生活歴や家族からの情報等により、本人本位となるよう検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前にご本人様やご家族様から入居前の生活についてセンター方式によるアセスメント等を行い、出来る限りその暮らしに添えるよう努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日頃の生活の中で入居者様の言動や行動を把握し、それをもとに職員間で情報を共有し一人ひとりに合った日常生活が送れるよう努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様やご家族の希望をもとに、毎月のカンファレンスにてケアを中心として意見やアイデアを出し合いながらケアプランの作成を行っています。	計画のモニタリング、目標の達成状況などについてカンファレンス等の場で検討している。毎月見直しを行い、健康や身体状況に合わせて計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアについて、気づき等を個人ファイル等に記入し、職員間で情報を随時共有しております。また、ケアプランの見直しにも活用しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	同系列の事業所と連携をとり、ご本人や家族の状況やニーズに応じた支援を行わせて頂いています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	避難訓練には入居者様にも参加して頂いております。町内会のゴミ拾いには可能な入居者様が参加させて頂いております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関から2週に1回の訪問診療を行っております。また、個々のかかりつけ医に定期的に受診し、協力医との連携もとれています。	専門医など、利用者が希望する病院への受診に職員が同行している。必要に応じて添書を持参したり、訪問診療医、事業所の看護師にも引継ぎを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	心身共に変化が見られた際は直ちに看護師に相談し、適切な処置や受診が受けられるよう日常の健康管理をしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はご本人の生活状況をお知らせするべく基本情報をお渡しする等、安心して治療を受けられる体制としております。退院時は医療機関と相談しながら、ご本人の意向もお聞きし対応しております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所であることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいます。	重度化や終末期のあり方については出来るだけ早い段階で、ご本人・ご家族・医師・看護師・管理者で話し合いがなされ、職員同士ケアの方針を共有しながら対応する体制となっております。	重度化した場合の対応に係る指針、意思確認を文書化し、早期から家族や担当医と連携し、話し合いを行っている。本人や家族の希望を尊重し、最善を尽くせるよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応策のマニュアルを作成し、応急手当については消防施設での訓練などで行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防職員と共に施設内で定期的に避難訓練を行っております。また、毎年防災センターへ全員で行き、見学や体験を行っています。	避難訓練は消防署の協力のもと、火災想定で年2回実施。緊急時の避難方法・経路の確認、協力体制作りに努めている。また、その他の天災対策についても、準備が進められている。	災害時の具体的な支援方法について、事業所内で十分に検討されているが、地域協力体制の基盤をもとに、継続した連携強化の尽力に期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様個々を十分に把握し、誇りやプライバシーを損ねる事の無いようカンファレンスで話し合い、ケアの統一を図っています。	利用者個々の意見・尊厳を尊重し、敬意ある対応を心がけ、職員会議や研修等の場で共有し、実践に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己表現が出来ない方には、コミュニケーションをはかり、時間をかけて思いや希望を表せるよう働きかけ、対応しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームとしての1日の基本的な流れはありますが、個々のペースや体調等を考慮し、その人らしい生活を送れるよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問理容を利用したり、毎朝や入浴後等に職員が支援し整えております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	体調と意思の尊重を大切にしながら、入居者様と協力し食事の準備をしております。いつもの食卓で食事の喜びを感じて頂ける様、下膳・食器拭きにも参加して頂いております。	準備から後片付けまで、個々の利用者に出来る範囲で手伝ってもらい、日々の楽しみとしている。また調理方法、嗜好等の要望も取り入れ、職員が献立作りをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による栄養バランスの献立に添いながら一人ひとりの状態によって形容を変えております。水分も嗜好にあった物を摂って頂いており、食事量・水分量を記録して必要な栄養量を確保できるように支援しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声掛け・見守り・介助にて口腔ケアを行って頂き、残歯と歯茎の健康維持・義歯洗浄・うがいによりしっかりと取り組み、歯科医と連携を図りながら口腔状態の確認をしております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ご本人様の排泄サインや時間間隔のパターンを考慮し、それに添った介助支援をしております。体調・食事・精神面で変化する為、声かけや誘導に配慮しながら排泄記録を確認し、不快感や失敗を減らすよう支援しております。	トイレでの排泄を基本としており、できるだけ失敗しないように利用者ごとの僅かなサインを見逃さず声掛けを行っている。定期的に内部研修を行い、適切な支援ができるようにしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食前の牛乳等での腸内刺激や、家事・清掃への参加、ラジオ体操・施設内での歩行運動を日常的に行っております。食事は繊維質の多いものを多く取り入れる様に考慮して頂いたり、水分補給をこまめに行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	体調やその日の気分に応じて無理強いせず、気持ちに寄り添った入浴をして頂いております。記録にて入浴間隔が空かないように配慮しております。	週3回を目標に、一人ひとりの希望や生活習慣に応じ、入浴がゆっくと楽しめるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人に合った場所や時間で休息をして頂いております。日中は活動的に過ごして頂いております。また、夜間は照明等に配慮して安心・安全に入眠できるように対応しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の用法・用量を職員全体で把握し、見守り・介助にて服用して頂いております。医師・看護師の指示により薬の増減調整をし、個々の症状の変化と確認をしながら支援しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各利用者様には役割をもって頂き、心の糧となるように支援しております。祝い事や季節ごとのレクリエーション等で幸福感や気分転換になる様に支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お天気の良い日には近所にお散歩へ行き、気分転換をさせております。また、月1回は普段いけないような場所にお出かけをし、その時その時のイベントごとに参加をし、楽しんでいただいております。	外気浴や散歩、ドライブ、外食といった外出機会を多く持つよう努めている。また、個々の入居者の希望に沿って日常の買い物、用足し等を職員が支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様と相談をし、職員が管理をさせて頂いておりますが、ご本人様のほしい物や必要時に応じて、支援をさせて頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	現在は要望がありませんが、ご本人様の意思を尊重するように支援をさせていただきます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じられるように、その季節ごとのイベントなどの飾りつけをしております。また、共用の空間には不快感を感じないように配慮し、無駄なものを床には置かないように気をつかい、転倒防止にも工夫をさせて頂いております。	ホームは川の沿いにあり、遊歩道を散歩したり、ベランダデッキで外気浴を楽しめるようになっている。明るい日差しが差し込む居間にはソファや食卓テーブルがあり、思い思いの場所で寛ぐことができる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った利用者様同士が座って頂ける様に職員が工夫をし、歌番組やビデオをみてゆっくりと過ごさせております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	昔なじみの家具や写真、職員がその時々イベントでお渡しした写真などを飾り、穏やかに過ごして頂ける様に工夫をさせて頂いております。	居室は、利用者が落ち着いて過ごせるように家族と相談しながら使い慣れた家具や思い出の品、写真などを飾っている。テーブルセットやテレビなどで、来訪者も一緒にくつろげるようにしている利用者もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内には手すりが設置しており、安全に移動できるようにしております。また、床には余計なものは置かず、安全に生活をして頂ける様に工夫させて頂いております。		